

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	大学等におけるリカレント講座の持続可能な運営モデル構築				担当部局庁	総合教育政策局	作成責任者
事業開始年度	令和2年度	事業終了 (予定)年度	令和4年度	担当課室	生涯学習推進課		生涯学習推進課長 石橋 晶
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	「経済財政と改革の基本方針2019」(令和元年6月21日閣議決定) 「成長戦略2019」(令和元年6月21日閣議決定) 「規制改革実施計画」(令和2年7月17日閣議決定) 「成長戦略フォローアップ」(令和3年6月閣議決定) 「経済財政運営と改革の基本方針2021(骨太の方針)」(令和3年6月18日閣議決定)		
政策	1 新しい時代に向けた教育政策の推進			主要経費	教育振興助成費		
施策	1-4 生涯を通じた学習機会の拡大						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_1-4.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	大学等におけるリカレント教育を持続的に発展させていくためには、リカレント教育の運営に必要な知見を広く共有し、多くの大学等がリカレント教育に取り組みやすい環境を整えることが必要である。そこで、大学等におけるリカレント教育の運営状況についての調査やヒアリング等を行い、学内の体制整備をはじめ社会人向けプログラムの開発・実施・改善における工夫など、大学等におけるリカレント教育の持続可能な運営に関する事例や知見を纏めたガイドラインを作成し全国展開を行うことで、リカレント教育プログラムの提供促進に繋げる。						
現状・課題 (5行程度以内)	主に社会人を対象としたプログラムを提供している大学等は3割未満であり、提供していない大学等のうち、「今後も提供予定はない」とした大学等は約64%。特に社会人受講生へのアプローチや学内体制整備に課題を感じており、リカレント教育プログラムを開発・実施できる体制が整っていない大学等が多い。 (株式会社野村総合研究所「大学等におけるリカレント講座の持続可能な運営モデル構築に関する調査研究」(2021年3月)より)						
事業概要 (5行程度以内)	大学等におけるリカレント教育の運営に関する調査や、企業に対するリカレント教育プログラムの活用に関する調査、リカレント教育プログラムの受講生・修了生に対する調査等を行い、その結果を踏まえ、大学等における運営状況や社会人のニーズの把握の手法等について優良事例や課題を分析する。また、大学等において調査結果を踏まえた実証研究を行い、持続的なリカレント教育運営のためのガイドラインの作成、全国展開を行う。						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/manabinaoshi/mext_01260.html						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	15.8	24.2	21.8	-	-
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	15.8	24.2	21.8	-	-	
	執行額(G)		11.2	23.6	21.4		
	執行率(%) =(G)/(F)		71%	98%	98%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		71%	98%	98%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)						
		(目)					
	計(A)		-	-			

活動内容① (アクティビティ)		リカレント教育プログラムを受講した社会人への調査や大学等のリカレント教育実施状況、企業の人材育成における大学等の活用状況に関する調査等を通じて、大学等におけるリカレント教育運営に資するデータを収集し、実態把握を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		実態把握に有用な調査を設計・実施する	社会人、大学等、企業等と いった対象別の調査実施回数	活動実績	回	4	－	－		
				当初見込み	回	3	－	－		
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	調査結果を実態把握に活用できるよう、調査内容の質を担保する有効回答数を得る。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 2 年度	
		可能な限り信頼性の高い調査結果とするため、一定以上の有効回答数を確保する	調査回答件数(リカレント教育プログラム受講生数、大学等数、企業等数)	成果実績	件	5,402	－	－	5,402	
				目標値	件	5,000	－	－	5,000	
				達成度	%	108	－	－	108	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		株式会社野村総合研究所「大学等におけるリカレント講座の持続可能な運営モデル構築に関する調査研究」(2021年3月)								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	調査内容について客観的な目線で確認し、より質の高い調査結果となるよう分析を深めるために、専門的知見・助言を得る。								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 2 年度	
		調査内容分析を深めるための運営委員会実施	調査内容分析を深めるための 運営委員会実施回数	成果実績	回	3	－	－	3	
				目標値	回	2	－	－	2	
				達成度	%	150	－	－	150	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		株式会社野村総合研究所「大学等におけるリカレント講座の持続可能な運営モデル構築に関する調査研究」(2021年3月)								
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	調査分析の結果、大学等におけるリカレント教育に関するデータを整理して提示し、課題点としてガイドラインの中で示すべき項目を洗い出す材料とする。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 2 年度	
		大学等におけるリカレント教育の実施状況や課題などの実態を多面的に把握する。	調査結果において提示された項目数	成果実績	項目	34	－	－	34	
				目標値	項目	30	－	－	30	
				達成度	%	113.3	－	－	113.3	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		株式会社野村総合研究所「大学等におけるリカレント講座の持続可能な運営モデル構築に関する調査研究」(2021年3月)								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容② (アクティビティ)		学内の体制整備や社会人向けプログラムの開発・実施・改善における工夫など、リカレント教育を持続的に実施するために参照できるガイドラインを提示し、大学等がリカレント教育に取り組みやすい環境を整備する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		リカレント教育実施のプロセスで留意すべき点を整理するため、先行してリカレント教育に取り組んでいる大学等にヒアリングを実施する	ヒアリングを実施した大学等数	活動実績	校	－	9	18	－	－
				当初見込み	校	－	5	10	－	－
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	ヒアリングや事例収集の結果、ガイドラインの中で示す、リカレント教育を実施する上での留意点等の項目を整理する。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 4 年度	
		リカレント教育を実施するプロセスにおける留意点としてガイドラインに掲載する項目を整理する	ガイドラインに纏める項目数	成果実績	項目	－	－	16	16	
				目標値	項目	－	－	10	10	
				達成度	%	－	－	160	160	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		PwCコンサルティング合同会社(文部科学省委託事業)「大学等におけるリカレント教育の持続可能な運営モデルの開発・実施に向けたガイドライン」(2023年3月)								
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	ガイドラインの普及啓発により、リカレント教育実施に係る知見が幅広く共有される。								
成果目標及び成果実績 ②-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 4 年度	
		先行事例から纏めたリカレント教育実施における取組のポイント等の知見を共有するため、作成したガイドラインを普及させる	ガイドラインを周知した対象大学等数	成果実績	校	－	－	932	932	
				目標値	校	－	－	932	932	
				達成度	%	－	－	100	100	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		PwCコンサルティング合同会社(文部科学省委託事業)「大学等におけるリカレント教育の持続可能な運営モデルの開発・実施に向けたガイドライン」(2023年3月)								
↓	成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	リカレント教育実施に係る取組の知見を共有したことで、社会人向けプログラムの開発・実施に取り組む大学等が増える。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度	
		ガイドライン周知を通じて、リカレント教育プログラムを開発する大学等のインセンティブ向上、社会人向けプログラムの充実に繋げる	社会人向けのリカレント教育プログラム数	成果実績	プログラム	－	－	－	－	
				目標値	プログラム	－	－	－	5,000	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文部科学省「大学における教育内容等の改革状況について」(令和5年度より調査項目追加)								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

[illegible]

※令和4年度実績を記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

文部科学省

21.4百万円

諸謝金 0.09百万円
職員旅費 0.1百万円
委員等旅費 0.09百万円
を含む

令和3年度に行った大学における実証研究
を経て作成したガイドライン(骨子・試行版)
を基に追加実証研究等(大学における実証
研究や企業等のヒアリング等)を行い、ガイ
ドラインを完成させ全国展開を行う。



委託【随意契約(企画競争)】

A.PwCコンサルティング合同会社

21.1百万円

- ・運営会議の設置・運営
- ・追加実証等の実施
- ・ガイドラインの作成
- ・ガイドラインの全国展開

